夢を語る学校

防風林

学校便り №10 【1･2月号】
札幌市立新琴似北小学校
発行：令和８年１月１５日（木）
TEL 762－1736　FAX 762－1975　https://www.shinkotonikita-e.sapporo-c.ed.jp

TTの指導の立場から…

ＴＴ担当教諭　大庭　良平

本校では、学習指導の工夫改善として特に苦手意識をもつ子どもが多い算数について、３・４年生の専科指導や専科の導入や学級担任と補助教員で協力して授業を行う「T・T」(ティームティーチング)を行っています。また、学年や学級をいくつかのグループに分けて授業を行う「少人数指導」にも取り組んでいます。

私は「T・T」担当教諭として個別に子どもたちに関わり、一人一人の学習支援をしたり少人数グループの指導をしたりしています。「T・T」や「少人数指導」は、子どものつまずき支援や発展学習を提示するなど、多様な個性や特性への対応が可能です。担任教師との協力により子どもの意欲を持続しながら個別に最適な指導方法を実現する事ができます。

つまずきがあり問題解決が困難な子どもには基本の課題を、得意な子どもには発展課題的な問題に取り組ませるなど、一人一人の理解度や興味に応じた指導を行うことで、理解度に応じた学習の深化が期待されます。

さらに担任外教諭の協力も得ながら、一人では難しいグループワークや少人数指導など、多様な学習形態を効果的に展開することができるのです。１つのグループの人数が少なくなると子ども一人を見る時間が増え、その子に合った指導ができるよさがあります。

こうして複数の視点から子どもたちの様子を観察できるので、小さな苦手意識や学習課題を早期に発見し、手厚く対応することができるのです。また、クラス全体での学習指導の中にグループワークを取り入れ、試行錯誤を促す関わりをしたり、わかる楽しさを共有したりすることで、子どもの学習意欲が高まります。こうした協働学習を通じて、他者と意見交換しながら論理的思考力や問題解決する力が育ちます。

そうは言っても、私たちの関わりや指導だけですぐに理解が深まって成績結果に結びつく子どもは多くないのも事実です。結果を求めるあまり、厳しく取り組ませ過ぎることがあります。かえって「算数嫌い」を育てることになりかねません。実は私も小学校(昔の屯田小)時代は、ずっと算数が嫌いでした。昭和時代の詰め込み教育だったせいなのか、とにかくまったく算数が分からなかったからです。

しかし、中学生(昔の新北中)になり、「数学」の闇に取り込まれそうになっていた時、ある厳しい昭和初期世代の先生に、毎日のように「こんな問題も出来ないのか！」と叱られました。でもその先生は「じゃあ教えてやる！」と、時には放課後の職員室で、時には休み時間に教室で「数学嫌い」の生徒を何人か集めては、個別に厳しく、しつこく教えてくれました。嫌で嫌で仕方ありませんでしたが、ある時突然、視界が開けるように算数が、いや「数学」が理解できるようになったのです。

子どもたちの能力や特性、発達の仕方には個人差があります。今はあまりよく理解できなくても、粘り強く取り組んでいると、いつかすっきりと目からうろこが取れる時が来るかもしれません。もちろん、どうしても理解できないままになる場合もあります。それを大人の方から早々と見切りをつけたり、出来ないと決めつけたりするようなことがあってはならないのだと感じています。大人が早々に「この子には無理だ。」と決めつけると、子どもは「自分はできない人間だ。」という自己暗示（学習性無力感）に陥り、本来目からうろこが取れるはずだった理解の瞬間に手が届かなくなるのではないでしょうか。

どんな子どもにも、主体的に伸びる可能性があると信じ、粘り強く取り組む過程を認め続けてあげることが、子どもの「いつか分かるはず」という自信を支えます。理解の定着には、知識の詰め込みではなく、心身の成熟という「時間」が必要であることを私たち大人が理解しておく必要があるでしょう。

見取り、励まし、関わる中で、できる限りその子に応じた支援を継続し、楽しく自信をもって算数の学習に取り組んだり「できた。」「分かった。」という実感をもたせたりするために、T・T や少人数指導の時間が役立つ場となるよう、努力を続けてまいります。

御家庭でも、困難なことに立ち向かう意欲や頑張る姿勢の大切さについて、日頃から前向きに励まし、温かく支えてあげていただければと思っています。本年もよろしくお願い致します。

1・2月の行事予定

【1月】

１５日（木）３学期始業式
　　４時間授業・給食あり 13:10 頃下校
　　交通安全指導①　～２０日(火)
１６日（金）交通安全指導②、ＡＬＴ来校
１９日（月）交通安全指導③
　　児童委員会（５年）※６年：５時間授業
　　なわとび週間（～２３日(金)）
２０日（火）交通安全指導④、歯の指導（６年）
２１日（水）ＡＬＴ来校
　　※短縮５時間授業（６校時カット）
２２日（木）スキー学習①　5年 ※要弁当 14:20 頃下校
２３日（金）スキー学習②　6年 ※要弁当 14:20 頃下校
　　ＡＬＴ来校
２７日（火）スキー学習③　4年 ※要弁当 14:20 頃下校
　　歯の指導（２年）
　　新琴似北中交流（６年新学予定者）
２８日（水）スキー学習④　3年 ※要弁当 14:20 頃下校
　　ＡＬＴ来校
３０日（金）ＡＬＴ来校
※サッポロテイネスキー場でのスキー学習の学年は
　５時間授業の時刻で帰ります。

【2月】

２日（月）児童委員会（５年）※６年：５時間授業
４日（水）ＡＬＴ来校、避難訓練
６日（金）ＡＬＴ来校
　　漢字検定 14:20 開始
１１日（水）建国記念の日
１４日（金）ＡＬＴ来校
１６日（月）児童委員会（５年）※６年：５時間授業
１８日（水）ＡＬＴ来校
１９日（木）一日入学・入学説明会、ＡＬＴ来校
　　午前授業（２年のみ）※給食あり
　　屯田中央中交流（６年新学予定者）
２０日（金）ＡＬＴ来校、虹色販売会（すずかけ）
２３日（月）天皇誕生日
２５日（水）新琴似中交流（６年新学予定者）
　　ＡＬＴ来校
２６日（木）評価入力日：５時間授業（６校時カット）
２７日（金）ＡＬＴ来校

【3月】

５日（木）参観懇談（１３４年・すずかけ）
６日（金）参観懇談（２５６年）
２３日（月）第５４回卒業証書授与式（５６年）
　　※休業日（１～４年）
２５日（水）修了式・離任式（１時間目）

2/19（木）一日入学・入学説明会

来年４月に入学する新１年生向けの一日入学、入学説明会があります。２年生は午前授業で、給食後１３時０５分頃の下校になります。

次年度（令和８年度）に新入学のお子さんがいらっしゃる御家庭の皆様は、お子さんとともに、御来校をお忘れないよう御参加をお願いします。

帰宅時刻は16時！

放課後は夕方４時には家に着くように指導しています。御家庭でも話題にして御指導ください。

ゲレンデのスキー学習（3～6年）

1/22(木)５年　1/23(金)６年　1/27(火)４年　1/28(水)３年
※例年と異なり、５年が木曜です。御注意ください。

【必要な服装及び持ち物】
スキーウェア、スキーグローブ、ゴーグル（必要に応じて）、帽子（風に飛ばされない、耳が隠れるもの）、ハンカチ、ティッシュ、リュック、弁当、水筒、その他カイロやタオルなど（必要に応じて）

【場所】サッポロテイネオリンピア
【時程】８：５０　出発
　　９：３０　到着
　　１０：００　スキー学習開始
　　１２：３０　スキー学習終了　目安
　　１３：００　昼食
　　１３：３０　現地出発
　　１４：１０　学校到着
　　１４：２０頃　下校予定
【注意】サッポロテイネオリンピアのシーズン券をお持ちのお子さんは、担任まで連絡ください。

週末には、学校に物の出し入れはできません

教室や玄関へ忘れ物を取りに入れません。スキー用具についても同様です。週末にスキーを取り出したり、置きに来たりすることもできません。

忘れ物を取りに来る際は、必ず、平日にお願いします。

放課後は、来校前にお電話いただけると確実です。

※学校の電話は平日の朝 8:00～夕方 17:00 頃までの受付です。それ以外の時間帯は札幌市教育委員会へ直通となっておりますことを、御承知ください。

※放課後の夕方や夜間、土日などに利用している各種少年団活動（バスケやブラバン等）や放課後開放利用の各団体（剣道、バレー、テニス等）に本校児童が来ていても、学校職員は基本不在につき、インターホンを押しても対応できませんことを御承知おきください。平日のように教室に物を取りに行ったり、置きに行ったりすることはできません。

参観懇談の御案内　3/5(木)、3/6(金)

今年度最後の参観懇談を以下の日程で行います。

【日付】	3月5日(木)	3月6日(金)
【学年】	１・３・４年・すずかけ	２・５・６年
【授業参観】	１３：２５～	１３：１５～
【学級懇談】	１４：２０頃～	１４：１０頃～

参観授業後に学級懇談を行います。今年度最後の懇談となります。同じ学級の保護者の横のつながりや顔合わせのためにも、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

※**上履きと靴袋を御持参ください。**
※**お車での御来校はお止めください。徒歩や自転車でお越しください。**
※玄関に忘れ物を陳列しております。お子さんの物がございましたらお持ちください。